



2010年8月17日

全日本空輸株式会社
海外新聞普及株式会社

新商品「IEX JAPAN CONNECTION」が誕生！

～さらに速く、さらに便利に、羽田空港・那覇空港を中継基地として海外へお届けします～

ANA グループでは、昨年10月にオープンした沖縄貨物ハブを活用し、従来の2地点間輸送の次元を超えて、沖縄の地理的優位性を活かしたお客様ニーズに最適な「時間価値」の提供へとビジネスモデルを進化させています。

この度2010年9月1日(水)より、ANA グループの一員である海外新聞普及株式会社(本社: 東京都港区、社長: 柴田 司 以下「OCS」という)では、日本各地とアジア域内主要都市を深夜貨物便でスピーディに結ぶエクスプレス新商品「IEX JAPAN CONNECTION」を発売致します。

また、2010年10月31日(日)の羽田空港国際化に伴い、OCSの主力商品であるIEXシリーズは、一部路線に羽田空港発着便を追加し、更なるリードタイムの短縮を図ります。

ますます便利になったANA グループのエクスプレスサービスをぜひご利用下さい！

1. 地方からアジア主要都市へ、沖縄貨物ハブを利用してスピーディーにお届けします！

ANA グループの国内線ネットワークと沖縄貨物ハブネットワークを活用した新商品「IEX JAPAN CONNECTION」を投入し、国内各地*1 からアジアへよりスピーディーにお届けします。従来からDoor to Door サービスの商品として、「IEX」シリーズを展開しておりましたが、新商品「IEX JAPAN CONNECTION」では、従来よりも最大で24時間リードタイムを短縮し、これまで集荷日の翌々日以降配達していた貨物も、集荷日の翌日から荷受人様への配達も可能となります。また、お客様の所在地により、「IEX HOKKAIDO」、「IEX KYUSHU」など、覚えやすく、呼びやすいサブネームをつけていているのも特徴です。

また、大口・高重量貨物輸送にも集荷から配送までの「Door to Door」で対応し、お客様のニーズに最大限お応えします。

*1 詳細については、別紙「OCS IEX JAPAN CONNECTION 展開予定都市」をご参照ください。

【新商品 IEX CONNECTION 使用例】



従来【輸出】上海



2. 羽田空港から海外へ、スピーディーにお届けします！

羽田空港の国際化に伴う ANA 羽田発着新路線(ロサンゼルス・シンガポール・バンコク・ホノルル)の展開により、貨物輸送ネットワークがさらに充実します。羽田発着新路線を活用することで、これまでより一層リードタイムを短縮することが可能となり、OCS の主力商品「IEX」シリーズがますます便利になります。

【IEX シリーズ(羽田空港利用便)使用例】

【羽田便利用輸出】ロサンゼルス



現状【成田便利用輸出】ロサンゼルス～集荷時間夕方の場合



現状【成田便利用輸出】ロサンゼルス～翌日配達の場合



3. OCS ロゴ塗装機の就航！

ANA 貨物専用機(ボーイング 767-300 フレーター)に OCS の社名ロゴマークを施した塗装機が沖縄ハブネットワークに投入され、8月 23 日(月)深夜より、羽田から那覇空港へ就航致します。海外新聞普及株式会社は、2010年9月1日(水)に社名を「株式会社 OCS」へと変更いたします。新社名の象徴である「OCS」ロゴを ANA 貨物専用機に施し PR することにより、OCS ブランドを更に強固なものとし、企業価値の向上に繋げてまいります。

今後も ANA グループは、従来の事業領域の次元を超えて、これまでの「貨物スペース」の販売から、お客様に最適な「時間価値」の提供へとビジネスモデルを更に進化させていきます。これからの ANA グループの貨物事業にどうぞご期待ください。